

はばたきプラン

本市の小中一貫教育は、施設分離型で実施しています。施設分離型だからこそ大切にしている「授業のつながり」——。今日学んだことを明日の授業、次の学年、そして、小学校から中学校へと、子どもたちの未来へつないでいきます。

この9年間の授業のつながりが、児童生徒の学力・体力と豊かな心を育てていきます。



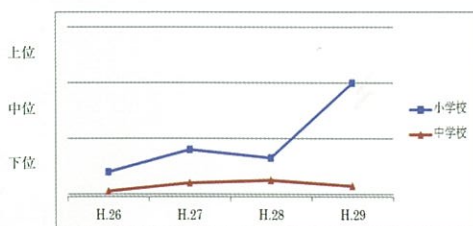
〈中川小学校と小坂小学校教員による研究授業〉

互いに磨き合い、高め合う授業へ

平成 30 年 1 月 18 日、19 日には、小坂町教育委員会教育長を含む 3 名が本市を訪れ、中川小学校と大原中学校の授業を参観しました。さらに中川小学校では、派遣研修に参加した中川小学校教員と小坂小学校教員が「小坂スタンダード」を基に算数の協働授業を行いました。

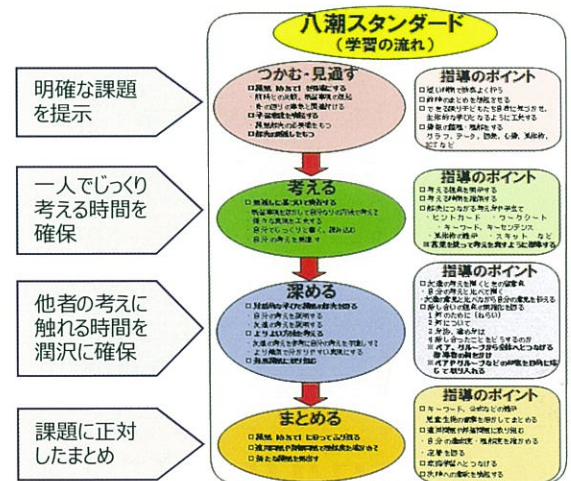
平成 30 年度も「八潮スタンダード」を活用した授業改善により、9 年間で確かな学力の育成を図ります。

全国学力・学習状況調査における八潮市の位置
(※県内 62 市町村の中での相対的な位置を示しています)



「9年間をつなぐ授業」に向けて

平成 30 年度も引き続き「授業改善」を中心に小中一貫教育を進めていきます。その一つが平成 27 年度から始まった秋田県小坂町立小坂小・中学校（施設一体校）への教職員の派遣事業です。この事業は、小中一貫教育を実施し、且つ全国学力・学習状況調査でトップクラスに位置する小坂町に 5 日間、教職員を派遣し、派遣先で学んできたことを市内全体に広め、本市の学力向上に生かそうとするものです。既に 21 人の教員を派遣し、その経験や知識を市内教職員に発信しています。中でも、現在、市内全小中学校の授業で活用している「八潮スタンダード」(目指すべき授業展開を示したモデル)は、この派遣研修を機に「小坂スタンダード」を参考に作成しています。

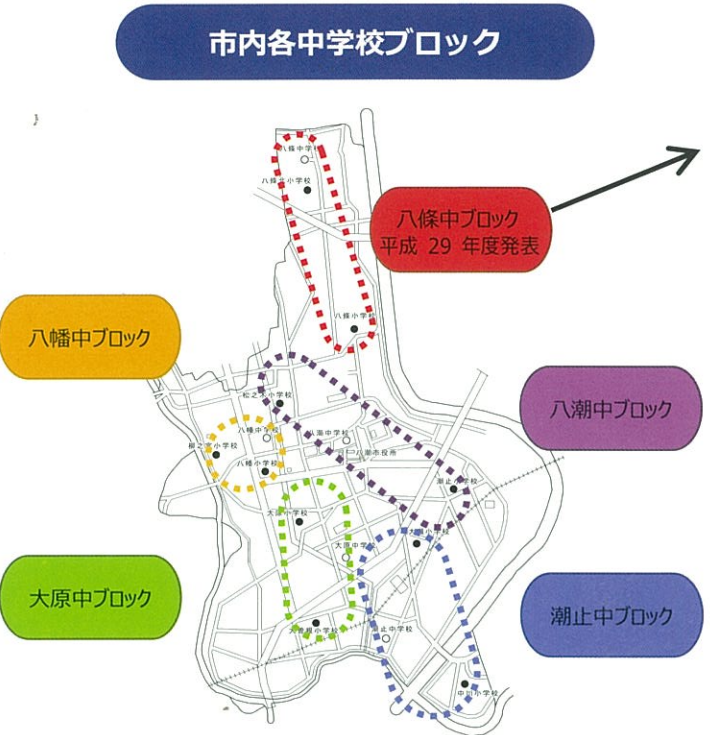


「八潮スタンダード」を活用した授業実践により、その成果が徐々に表れ始めています。

5つの中学校ブロックが、それぞれ特色ある取り組みを展開しています。

「学力・体力の向上」と「豊かな心の育成」を目指し、各中学校ブロックでは児童生徒の実態に応じた取り組みを実施しています。

各ブロックの目指す児童生徒像や主な取り組みについて紹介します。



八條中学校ブロック

八條中学校
八條小学校
八條北小学校

目指す児童生徒像

- 【知】 よく考え、判断し、意欲的に学ぶ児童・生徒
- 【徳】 思いやりをもち、行動できる児童・生徒
- 【体】 粘り強く取り組み、最後までやり遂げる児童・生徒



八條中ブロック 研究発表会

〈研究主題〉
学力・体力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進
3つの柱で育む
八條トライアングル
プラン29

日時
平成29年11月17日

場所
八條小学校（公開授業 全体会）
八條北小学校（公開授業）
八條中学校（公開授業）

平成29年11月17日に八條中学校ブロック（八條中学校、八條小学校、八條北小学校）で研究発表会が開催されました。本ブロックは、平成18年度に内閣府から「小中一貫教育特区」に認定されて以来、常に市内で先進的な取り組みを続けてきました。



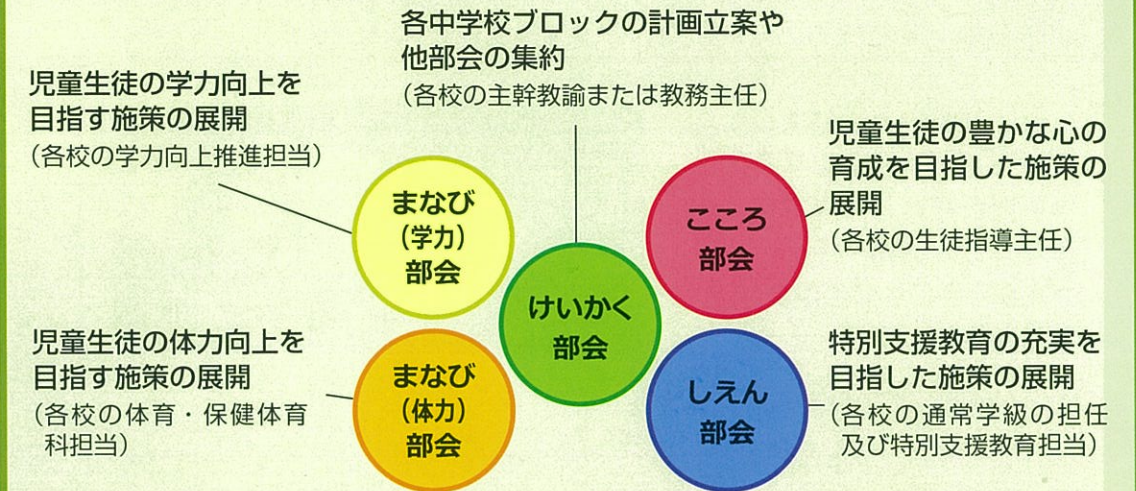
八條北小学校と八條中学校教員による6年生の学級活動

発表会では、3校での「いじめ撲滅宣言」や公開授業・全体会を通して、小中学校の円滑な接続を目指した実践・研究について報告したほか、筑波大学非常勤講師の齋藤真弓先生から「小中9年間を見通した特別な教科 道徳の授業の実際」と題し、ご講演をいただきました。

教職員のアイデアを生かす

5つの部会が中心となって小中一貫教育を進めています。

教職員を構成員とする5つの部会を設置し、小中一貫教育を推進しています。各部会には全校から1名ずつの教員が参加し、教員のアイデアを生かした施策を検討・実践しています。



平成18年度に小中一貫教育を導入してから、平成30年度は13年目を迎えます。各中学校ブロックや5部会、そして保護者や地域の皆さまのご理解・ご協力により、その成果が表れています。

成果が表れています

八幡中学校ブロック

八幡中学校
八幡小学校
柳之宮小学校

各教科の系統性を見直し、小中学校の指導法の共有化を図っています。また、八潮スタンダードの流れに沿った学習展開の工夫を大きな柱とし、実践の積み重ねによって目指す児童生徒像に迫っていきます。



八潮中学校ブロック

八潮中学校
潮止小学校
松之木小学校

目指す児童生徒像

- 「自ら課題を見つけ、進んで学ぶ児童生徒」
 - 「規範を守り、相手の立場になって行動する児童生徒」
 - 「健康で、体を動かすことが大好きな児童生徒」
- ノート指導の統一や「生活振り返りシート」の活用など、3校で取り組んでいます。



大原中学校ブロック

大原中学校
大曾根小学校
大原小学校

毎年、小中の教員が連携し、小学校・中学校で授業を行っています。また、3校で公開授業を行い、指導法や児童生徒の情報交換を通して交流を図っています。



潮止中学校ブロック

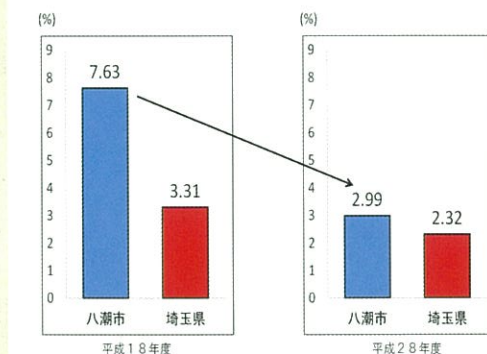
潮止中学校
中川小学校
大瀬小学校

目指す児童生徒像

- 【1・2学年】
 - 仲良く助け合おうとする子
 - 自分の考えを伝え、友だちの考えを聞き、話し合える子
 - 日常生活や学習に関心を持ち、興味できる子
 - 【3・4学年】
 - 協力し合おうとする子
 - 自分と友だちの考えを比べ、話し合える子
 - 具体的に、より良い解決の方法を見つけ、実行できる子
 - 【5・6・(7・8・9)学年】
 - 信頼し、支え合おうとする子
 - 自分の長さを認め合い、活かす方法を話し合える子
 - 自分の役割や責任を果たし、自己の生き方に活かせる子
- 夢や志をもつ、進んで学ぶ児童生徒の育成を目指し、潮止中学校、中川小学校、大瀬小学校の3校は、一貫団結して進んでいきます！ 学びを結ぶ次のステージへ！！

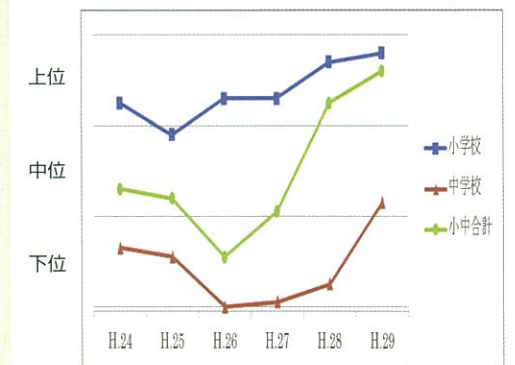


不登校生徒発生率



新体力テストにおける八潮市の位置

(※県内62市町村の中での相対的な位置を示しています)



平成18年度当初、埼玉県の2.3倍もあった本市の不登校生徒発生率は、平成28年度までに半分に激減しました。

これは、「こころ部会」をはじめ、不登校特別対策協議会や各中学校ブロック、八潮市教育相談所や関係機関等が一丸となって取り組んできた成果です。

今後も、市全体で不登校児童生徒の解消を重要な柱としていきます。

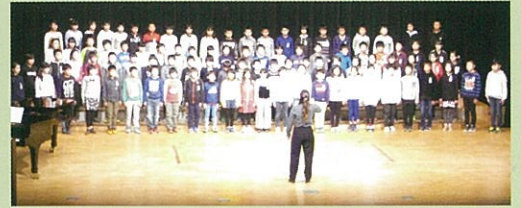
「まなび(体力)部会」で取り組んでいる「新体力テストの取組強化」が早くも成果として表れています。

小学校は県内トップレベル、中学校は県内中位に位置し、「まなび(体力)部会」の設置から2年間で大きく躍進しています。

新体力テストとは、全国で実施されている自身の体力の現状を知り、目標を持って体力向上へと取り組めるようにするための調査です。

はばたき 2017 合同報告会

2月20日に八潮メセナで、「はばたき2017」合同報告会を開催しました。これは、本市で行っている小中一貫教育の取り組みを市民の皆さんに知っていただくため、毎年この時期に開催しているものです。報告会の一部を紹介します。



八條中ブロック児童生徒による「合同合唱」「いじめ撲滅宣言」

研究発表会でも披露した八條小学校と八條北小学校による合同合唱と八條中学校を加えた3校の児童・生徒会の皆さんによる『いじめ撲滅宣言』を発表しました。



「はばたき2017」
合同報告会
・アトラクション
八條中ブロック児童生徒
・「八潮こども夢大学」の報告
・秋田県小坂町派遣研修報告
・けいかく部会研究報告
・座談会「学校現場から見た
小中一貫教育」

八潮こども夢大学の報告

八潮こども夢大学は、様々な分野の大学等と連携し、子どもたちの学習に対する興味や関心を喚起させ、知的好奇心や探究心を掻き立て、将来の夢や希望を育むことを目的に市内小学5・6年生と中学1年生を対象に行っています。

平成29年度は6つの大学と連携し、56名の児童生徒がⅠ期4回、Ⅱ期4回の授業を体験しました。



Ⅰ期	第1回	10月7日(土) 聖徳大学 児童学部・音楽学部・ 語学教育センター
	第2回	10月14日(土) 昭和大学 薬学部
	第3回	10月28日(土) 国土館大学 理工学部
	第4回	11月11日(土) ハリウッド大学院大学 美容
Ⅱ期	第1回	11月18日(土) 聖徳大学 児童学部・短期大学部保育科・ 語学教育センター
	第2回	12月2日(土) 東海大学 情報通信学部
	第3回	12月9日(土) 国土館大学 国際交流センター
	第4回	12月16日(土) 淑徳大学 人文学部

僕は、夢大学に2年連続で参加しています。また来年度も参加したいと思っています。それはなぜか、「楽しいから」です。「もっと大学を知りたいから」です。
夢大学に参加して強く感じたことは、「大学に間違いはなく、間違えても恥ずかしいくない」ということです。間違いを意識するのではなく、意見をより多く発表することが、大切なことだと感じました。
4月から中学生になります。夢大学で出会った友達と会えるのがとても楽しみです。今より更に視野を広げるため、新しく出会う友達、夢大学で出会った友達との絆を深めながら、たくさんの方にチャレンジしていきたいです。

参加児童生徒の代表(大瀬小6年生)から夢大学の報告をしていただきました。



座談会

小中一貫教育の原動力である学校現場の先生とこれまで本市の教育に深く携わっていただいている文教大学名誉教授 平澤 茂先生をお招きし、「学校現場から見た八潮の小中一貫教育」と題して、座談会を開催しました。

参加者の声を紹介します。

「八潮スタンダード」を授業の中で意識し、活用すればするほど、子どもたちの考えが深まり、内容の濃い授業になっていくことを実感しています。
「八潮市をよりよくなってほしい」と、今日の報告会に参加し思うことができました。

保護者目線での感想ですが、八潮市の教育に対する取り組みを改めて知ることができました。普段子どもたちが勉強で書いているノートや授業の構成も、先生方がいろいろと検討した結果なのだということがよく理解できました。
小中一貫教育を進めるにあたって先生方が八潮の子どものことをとてもよく考えてくださっていることがわかりました。

問い合わせ

埼玉県八潮市中央一丁目2番地5 電話048-996-2111(内線398)
八潮市教育委員会 学校教育部 小中一貫教育推進室